

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。

# さっぽろ 市議団ニュース

＜第3回定例会＞

2015年10月27日

No. 144

日本共産党札幌市議団 事務局

tel 211-3221 / fax 218-5124

## 就学援助——入学準備金の支給を入学前に！ クラブ活動費、生徒会費、PTA会費も実施を！

太田秀子議員が質問

日本共産党の太田秀子議員は20日、決算特別委員会で就学援助の入学準備金の支給時期を入学前に早めることや対象の拡大について質問しました。

太田議員は、所得の少ない世帯に学用品などの費用を支援する就学援助について、「昨年、本市で受けたのは23,100人で児童総数の17.2%（約6人に1人）にのぼる」とし、とくに入学準備金について「保護者に届くのは6月末から7月では間に合いません」「ランドセルは3万円から5万円、入学式の服も買ってあげたいのが親心。中学校入学の準備にはもっとお金がかかります」と入学準備金を入学前に支給するよう改善を求めました。

引地学校教育部長は、「算定をする所得証明の発行が5月中旬以降になり入学前の支給は難しい」「3月下旬に市外に転居することが多く、入学前に受給した場合、返還してもらわなければならない」とのべました。

太田議員は、「入学準備金の前倒し支給には様々な課題があると思うが他都市のとりくみを参考に検討すべき。福岡市や石川県白山市では入学前に支給しており、白山市では転居した場合の返還など想定して行っている」と紹介。また「京都市では給食アレルギーで診断書が必要な場合の費用や、神奈川県大和市は視力検査料含むメガネの購入費も補助しています。国が認めていて本市が実施していないクラブ活動費、生徒会費、PTA費も早急に行うべき」と求めました。

引地部長は、「就学援助審議会において支給費目の追加について検討させていただく」とのべました。

## 原発に頼らない安心・安全な再生可能エネルギーの普及を

伊藤りち子議員が質問

日本共産党の伊藤りち子議員は16日、決算特別委員会で再生可能エネルギー導入の取り組みについて質問しました。

伊藤議員は、「福島原発事故がいまだに収束していない日本で、原発に頼らない安心・安全な再生可能エネルギーへの転換が重要」と強調。札幌市が原子力発電に頼らない温室効果ガスの削減目標を設定しているとのべ、「この間の再生可能エネルギー導入の取り組み状況はどうか」、また「本市が行った再生可能エネルギーの利用可能量調査では、地熱30.0億kwh、太陽光18.5億kwhで風力などを加え合計60.7億kwhとなり、2012年度の本市の電力消費量94億kwhの65%に相当する」ことを明らかにし、「市有施設に導入した再生可能エネルギーで、その施設の電力を100%まかなえる計画を立てる必要がある」「再生可能エネルギー導入の取り組みをどう評価し、今後どのようにすすめて行くのか」とたずねました。

城戸環境都市推進部長は、「太陽光発電は、昨年末までに市内の小中学校136校を含め180の市有施設に設置し、地中熱の利用では消防署など22の市有施設で冷暖房用として地中熱ヒートポンプを導入している」、市民への啓発をはかるうえでも「引き続き市有施設への率先導入をすすめていきたい」とのべました。